

令和6年度 第8回梅坪台地域会議 会議録

■ 日 時 令和6年11月12日（火） 午後7時～午後8時50分

■ 場 所 梅坪台交流館 2階 大会議室

■ 出席者

＜委 員＞	岩崎 洋平	岩松 初男	川井 圭子
	杉浦 隆	鈴木 重久	鎮西 和也
	長江 秀昭	山村 史子	依田 武人
＜交流館＞	杉山 浩子（梅坪台交流館 館長）		
＜事務局＞	松下 誠（地域支援課 副課長）	大平 直樹（地域支援課 担当長）	
	吉村 亜美（地域支援課 主事）		

■ 内 容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告・協議事項
 - （1）地区コミュニティ会議関係について（報告）
 - （2）地域課題について（協議）

■ 議事内容（要約）

3 報告・協議事項

（1）地区コミュニティ会議関係について（報告）

- ・11月3日（日）ふれあいフェスタ
…3,800 人来場。昨年は 3,000 人。今回初めて実施したクロージングには 400 人参加。
- ・1月12日（日）二十歳のつどい
…産業文化センターで開催する。

（2）地域課題について（協議）

事務局から、梅坪台地域の子ども会・自治区対象アンケート集計結果および他自治体の子ども会活動等に関する事例を説明した。その後、「子ども会」「地域と子どもとのつながり」の課題について協議を行った。協議内容は別紙のとおり。

■ 今後の予定

令和6年度第9回梅坪台地域会議

12月10日（火）午後7時 ～ 梅坪台交流館大会議室にて

子ども会の存在意義に関すること

- ・子ども同士、親同士、地域とのつながりの場である子ども会は、やはり必要である。
- ・子ども会に加入しない理由は、子どもではなく、親にあることが多い。
- ・東梅坪町自治区内では3つの子ども会が解散しており、現在は1つのみ。その1つの子ども会も来年解散してしまうかも。子ども会の合併は難しい事情があるので解散に至っていると思う。
- ・子ども会の活動は、「参加者が楽しむこと」と「伝統文化の継承」という機能がある。

子ども会の活動内容に関すること

- ・役員の負担感があるのは、各子ども会の範囲で開催している小規模イベントの実施である。
- ・子ども目線で、不要な事業はそぎ落としていくとよい。
- ・大学生の協力を得て子ども会行事を実施した事例がある。
- ・役員間の連絡手段として、LINEの活用は負担軽減に効果的である。
- ・他の子ども会との交流があると良いのでは。
- ・かつて各子ども会が実施していた夏休み期間中のラジオ体操は、現在は地区コミュニティ会議が行っている。

子ども会活動の実施主体（核・プレイヤー）に関すること

- ・保護者が役員をやることについて。子どもの加入率が高い子ども会は、母数が多いこと、活動に協力的な雰囲気があるため、次年度の役員選任もそこまで負担を感じていない。加入率が低い子ども会は、加入した人の負担感が大きく、どんどん未加入・脱退者が増えてしまうと思う。
- ・①保護者が実施主体となる場合＜現在の体制＞
 - …負担が大きく、将来にわたって現体制を継続していくことは難しい。
- ・②自治区が実施主体となる場合
 - …京町が実施中だが、自治区も様々な事業を抱えており負担を増やせないため、他自治区への波及は難しい。
- ・③地区コミが実施主体となる場合
 - …かつて各子ども会が実施していた夏休み期間中のラジオ体操がなくなったため、梅坪台地域全域を対象として実施しているが、今以上に事業を増やすことは難しい。
- ・④有志（ボランティア）が実施主体となる場合
 - …地域で活動している団体・人の協力を得ることが、最も現実的で効果的だと思う。「うめつぼ広場実行委員会」は子ども向けイベント実施経験があり、協力を得られるかも。
- ・地域の有志を募る手段について、検討が必要。
- ・今の子ども会の体制（各子ども会が自立して活動）から、梅坪台地域全域を統括する実施主体の下に各子ども会を置く体制に改革するのはどうか。統括する実施主体が、各子ども会の機能・役割を一部負担して、保護者の負担を減らせないか。
- ・「名古屋市子ども会活動アシストバンク」のように、イベント開催に関しては民間サービス（企業と市のタイアップ）を活用すると良さそう。
- ・地域の伝統文化継承も重要な役割であるため、地域内の人が実施主体である必要がある。

子ども会と他団体とのかかわりについて

- ・現在は、子ども会と地域（自治区）は密接な関係にある。京町では子ども会活動を継続させたいが、保護者の負担が大きくやり切れないため、自治区がやることになった。イベント当日は保護者に手伝ってもらっている。
- ・子ども会のアンケート結果は、梅坪台地域の他団体（学校共働本部など）に共有して、各団体に活用されるとよい。

次回以降の地域会議の進め方について

- ・子ども会と地域会議の考えを振り返らせていきたい。そのために、子ども会に確認したいことを整理していく。